

私ども沖縄県民が尊敬してやまなかつた牧隆壽前沖縄開発事務次官が、去る三月三日、お亡くなりになられました。ご逝去を心から悼みますとともに、その失うところが大きいことを思い、私どもは今なお深い悲しみを感じております。

牧前次官は、復帰前に税制調査団の一員として沖縄に來られたことが本県との最初の関わりであつたと思います。爾來、沖縄に三たび赴任され、また沖縄開発事務次官就任をはじめ沖縄開発庁勤務を合わせる、実に六度十年有余にわたり沖縄のご担当をなさいました。ご出身が屋久島であつたこともあつてか常に沖縄の立場に立つてそして離島も含め県内全体に常に目配りいただきながら沖縄の振興にご尽力いただきました。そのお仕事ぶりや情熱にはいつも深く感銘を受けたものです。例えば三重県の津市の助役をなさつておられた時など、役人らしから

牧 前次官を偲ぶ

沖縄県副知事 石川 秀雄

ぬ行動力と実行力を存分に發揮され多くの功績を残されたと承つておりますが、沖縄の振興に對しましてその素晴らしいお力を發揮していただきましたことは、私どもにとつて本當にありがたいことであります。

お世話になつたことや思い出されることは数多くありますが、例えば昭和四十九年に沖縄総合事務局総務部調査企画課課長補佐にご就任された際、市町村の行財政運営に關し親身のご指導をいただいたことが思い出されます。当時は海洋博が開催された前後の社会経済情勢が転変としていた時期でしたが、ちょうどその頃、私も県において市町村行政を担当して

おりましたので、本當に多くのご指導を賜りました。また一緒に西表島に行く機会などもありましたので、大変親しくおつき合ひさせていただきました。

その後昭和六十二年に沖縄総合事務局次長、平成四年には沖縄総合事務局長にご就任されましたが、精力的に離島を回られ、地域住民と

對話をされていたお姿が今も思い出されます。また沖縄開発庁総務局企画課長、振興局長、事務次官を歴任されましたが、その間、第三次沖縄振興開発計画の策定とその推進、特別自由貿易地域制度の導入、国立組踊劇場の建設推進など、その功績には誠に顕著なものがあります。またご退官なされた後も、県内の新大学設置構想に關わられるなど、常に情熱とまごころを以て沖縄の発展にご貢献下さいました。

時には泡盛をたしなみ沖縄民謡も歌われ、人倍沖縄を思われたお優しいお人柄は、政界、経済界、官界の各界をはじめ多くの県民から敬愛され、信頼を寄せられていました。お若い頃走り高跳びやバレーボールで鍛えられた精悍なお姿を思い出すにつけ、お亡くなりになつたことが未だに信じられない気がいたします。

今、本県はサミット開催など、世界に向けて大きくはたくチャンスを与えられております。また第三次振興開発計画終了後の新たな沖縄振興計画の県案策定等に取り組む極めて大事な時期を迎えております。これから多くの指導をいただきたい矢先にご逝去されましたことは、誠に残念で

なりませんが私どもとしましては、生前のご恩に報いるためにも、「牧さんがご存命ならどうお考えになられるだろうか」ということを常に考えながら、二十一世紀に向けて、夢と希望の持てる、あたたかさと思いやりにあふれた沖縄を作るべく全力を尽くしてまいりたいと思ひます。

これまでお世話になりましたことに重ねて感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り致します。牧さんどうか安らかに、そして沖縄県の発展に永遠のご加護を賜りますようお願い致します。



牧 前次官(左)と歓談する石川副知事